

令和3年度 第3回ACP作業部会議事録

日 時 令和3年 6月10日(木)

午後2時～午後3時

場 所 安城市医師会館 2階 大会議室

部会長より挨拶

皆さん、手引書の内容はどこまで進んでいるか。来月の7月にはおおよその形にしたいと思う。事務局で、各グループがサルビーに投稿した内容を冊子にまとめた。

ACPのプロセスの流れを意識して手引書も作成できると良いか考える。重複していても良い。全体の流れをイメージしながらほかのグループとの調整もして進めて欲しい。

引用については引用元に確認していく必要があるので各自でお願いしたい。

事務局より連絡

手引書の作成を各グループでサルビーに掲載していただいた内容を冊子にまとめた。今後は7月までに纏めその原稿にて業者を決定し、推敲の上完成となる。

本日の作業の説明。グループワークは、他のグループとの調整や内容の確認をして欲しい。

各論に入らない個別ケースについては、Q&Aに掲載するため、グループ毎にまとめる。

各グループで話し合った内容を代表の方に報告頂く。

また、柏市ガイドラインはあくまで参考でという許可を柏市地域医療推進課に頂いている。

柏市以外の引用した文献は引用元に個別で確認し、参考資料の欄に記載する。引用許可に困る場合は事務局に連絡して欲しい。

議題

1. グループワーク結果

1G：情報収集・共有

1ページ目①意思確認として、本人の思いや希望を聞くとしていたが、意思確認の方法が難しいのではないかと思い、声掛けの方法を記載することにした。

支援のタイミングについては2Gとかぶる部分があるので相談している。

6ページ目のフォーマットの内容がこれでいいのか？病院や診療所、訪問看護なども同一のフォーマットで記載しないといけないがそれはACP作業部会では難しい。

フォーマットの内容が私のノートともかぶっている。(4Gより)

フォーマットを見るとチェックボックスになっている部分があるが、この方法だと

何故その選択をしたのかの背景が見えず、本人の意思解釈が難しい。案という形でとりあえず作成し、実際はサルビー見守りネットに最新情報ありなどの説明文が必要ではないか。そもそも、本人と、支援者と共に記載することが理想ではある。そのフォーマットをどこに保存しておくか、本人が書いたノートをきっかけに、医療者・介護者がその様式を踏まえてカンファレンスに活用するなど方法の検討が必要。本人の価値観が書かれている情報共有シートが良い。(部会長より)

2G：意思決定支援

安城市意思決定の所にサルビー見守りネットの活用、倫理の部屋を追加する。担当を決めて個別作業をしていたので内容のすり合わせをした。支援者の役割は2Gで職種の役割も追加する。代理意思決定の部分が3Gとかぶっているのだからそこはどうするか？

3G：疾患別・どのように実現するか

意思実現支援に当たるので、まずは疾患別の経過を先に記載し、その後に困った時の連絡先、救急搬送時、家族支援の順番に変更したい。困った時の相談先にはサルビー見守りネットや倫理コンサルテーションを入れる。家族支援は協働意思決定にあたるので、家族ケアの視点も入れたい。

4G：状況別・スキル教育

柏市の参考部分を文章表現や内容について見直しを行った。私のノートも原案をみながら安城市版を検討し始めた。1Gの情報シートとかぶる部分もあるし、枚数やサイズ、内容なども今後検討したい。

2. 事務局より

次回までにできた文書を6月末までにサルビー見守りネット ACP プロジェクトに投稿して、適宜修正し完成に近づけて欲しい。

次回 第3回ACP作業部会 令和3年7月8日(木) 14時～15時 安城市医師会館